

第34期 中部大学幸友会 総会・講演会

※懇親会(就職交流会)は現下の状況を鑑み開催いたしません。

●開催・日時

2022年 **4/27** (水)

総会 3:00pm～ (受付は2:30pmより)

講演会 3:50pm～

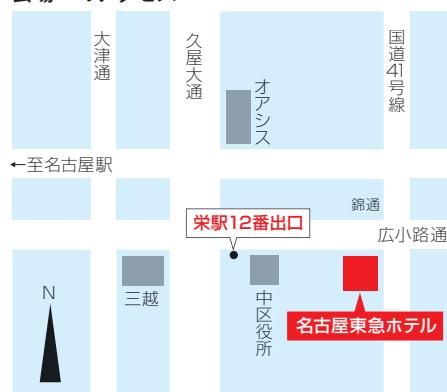
会場 名古屋東急ホテル 3階

〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8 TEL 052-251-2411

※発熱症状などのある方は、ご来場をお控えください。

※手指消毒とマスクの着用をお願いいたします。

会場へのアクセス



●地下鉄名城線・東山線 栄駅12番出口より東へ徒歩5分

E-mail: kouyukai@office.chubu.ac.jp

<https://www.chubu.ac.jp/> (企業の皆様をクリックしてください)

TEL 0568-51-4740 FAX 0568-51-1186

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学内

中部大学幸友会



第34期

中部大学幸友会総会・講演会のご案内

今年も花の便りが聞かれる頃となりました。

会員の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、中部大学幸友会は、昨今の社会情勢を鑑み、2年にわたり皆様にお集まりいただく形での総会の開催を中止といたしましたが、本年度は感染対策を講じた上で総会および講演会を開催する運びとなりました。

会員の皆様との再会を楽しみにお待ちしております。

なお、恒例の講演会の講師には、

名古屋大学減災連携研究センター教授、福和伸夫氏をお招きします。

大きな災禍は人間社会の根幹をゆるがします。

まさしく、いまの日本は歴史に記される令和の大転換期に立っています。

こうした災禍の中で社会はどう変わるか、ひいては皆様の事業はどう対応していくべきか、

今回の講演は、コロナ禍の次に迫り来る大震災の正しい情報と知識をお話いただくことにより、そこからの新しい事業の種となるお話をお聞かせいただけると存じます。

ご多用とは存じますが、皆様のご来席を心からお待ちしております。

2022年3月吉日

中部大学幸友会 会長 大辻 誠

講演会について

演題：温故知新と転禍為福で中部の未来を拓く
講師：名古屋大学減災連携研究センター教授 福和 伸夫 氏

講演概要

過去、災禍が重なると歴史が転換してきた。9世紀、15世紀には、東北地震、関東地震、南海トラフ地震、富士山噴火、疫病が重なった。今も、東日本大震災とCOVID-19が起き、南海トラフ地震、首都直下地震、富士山噴火が迫っている。効率重視の現代社会は脆い。災害を克服する術を生み出しビジネス化して、明るい未来を拓きたい。

講師

福和 伸夫

(ふくわのぶお/FUKUWA Nobuo)

名古屋大学減災連携研究センター教授
あいち・なごや強靱化共創センター長
藤田医科大学客員教授



プロフィール

1981年名古屋大学大学院修了後、清水建設(株)に入社。91年名古屋大学工学部助教授、97年先端技術共同研究センター教授、01年環境学研究科教授を経て、2012年より現職。2012年～21年減災連携研究センター長、2017～19年日本地震工学会長、建築耐震工学、地震工学、地域防災などの教育・研究に従事。防災功労者・内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰科学技術賞、防災功労者・防災担当大臣表彰、兵庫県県政功労者、日本建築学会賞、同教育賞、同著作賞、地域安全学会技術賞、災害情報学会廣井賞、日本免震構造協会技術賞、グッドデザイン賞などを受賞。

減災連携研究センター設立、減災館建設、振動実験教材・ぶるるの開発、防災人材育成、防災啓発活動、産業防災、災害時の住まい・医療・福祉の確保など、災害被害を軽減する国民運動に注力。

主な著書に

「次の震災について本当のことを話してみよう。」(時事通信社)、
「必ずくる震災で日本を終わらせないために。」(時事通信社)、
「耐震工学～教養から基礎・応用へ～」(講談社)など。